

大分県農林水産研究指導センター

Oita Prefectural Agriculture, Forestry and Fisheries Research Center

沿 革

大分県では平成 17 年 4 月に農業、林業、水産業の各試験研究機関を統合し「大分県農林水産研究センター」を設置、その後、現場ニーズや研究のスピード化及び成果の迅速な普及をめざして、研究指導體制を強化し、平成 22 年 4 月に「大分県農林水産研究指導センター」に再編しました。

試験研究の基本理念

農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、今後 10 年間の試験研究の方向を示す道標として、「大分県農林水産試験研究基本指針」を平成 28 年 3 月に策定しました。

変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発

組織の概要

農林水産研究指導センター

農業研究部

水田農業グループ

果樹グループ

花きグループ

畜産研究部

林業研究部

きのこグループ

水産研究部

浅海・内水面グループ

研究推進のポイント

(1) 研究課題の重点化と評価の徹底

- ◆現場ニーズに即した試験研究課題を効率的に実施するため、研究課題数を概ね 100 課題に厳選するとともに、研究期間も原則 3 年間とし、研究のスピード化を図ります。
- ◆研究課題の設定や進行管理に当たっては、内部・外部評価を厳格に行い、評価結果や進捗状況を公表します。

(2) 研究体制の強化

- ◆環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業、畜産、林業、水産の 4 研究部に再編しました。
- ◆効率的・効果的な研究開発を行うため、チーム制を導入し、チームが一丸となって技術開発に取り組みます。

(3) 指導體制の強化

- ◆各研究部・グループ内に指導・研修プロジェクトチームを設けるとともに、研究員自らが現場に赴き、直接指導するなど、研究成果の迅速な普及に努めます。

本部の業務

- 試験研究機関の予算の総合調整
- 研究課題の決定、進行管理
- 共同研究調整、知的財産取得・活用
- 課題評価・成果公表
- 研究員の資質向上
- 産学官交流・連携促進